

手をつなぐ 鹿島育成園だより

夢を語り夢をかなえる

編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
〒314-0016
茨城県鹿嶋市国末1539-1
TEL 0299(82)6464
FAX 0299(83)3261

鹿島育成園(児童養及び育成寮)
〒311-2401
茨城県潮来市大賀438-4
TEL 0299(66)3439(代)
FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



新年会の餅つき大会

年頭所感

園長 高橋 英一



一月九日(日)に新年会を開催いたしました。非常事態宣言が解除され、十一月に二年振りにご父兄を交えて収穫祭を開く事が出来、ホッとしたのも束の間、オミクロン株が流行し始めたため、新年会はほとんどのご父兄の参加が無い中で開かざるを得ませんでした。

そういう状況でも二人の新成人の門出を参加者一同で祝えたのは嬉しい事でした。

この二年間、コロナ渦の中で利用者も児童も職員も様々な制約の下で生活してきました。全てがコロナ渦に起因する事では有りませんが、京都アニメ事件を模倣したと思われる事件や常識では考えられない児童や高齢者に対する虐待事件が連日報道されています。

自粛生活が続く中ストレスによりうつ状態になりかねない事も心配されます。度が過ぎた自粛生活を見直す時期に来ているのではと思う事も多く、悩ましい限りです。

研修報告

育成寮 生活支援員 内野 比呂

今回、私は「虐待をしないためのスピーチロック防止研修」に参加しました。

スピーチロックとは？恥ずかしながら、私は全く知らない言葉でした。介護現場では3つのロックを廃止する取り組みが行われています。3つのロックとは、物理的に体を押さえつけて動けない様にする「フィジカルロック（身体的拘束）」、薬の効果でおとなしくさせる「ドラッグロック（薬物拘束）」、言葉によって行動を押さえつける「スピーチロック（言葉の拘束）」があります。3つのロックのうちフィジカルロックとドラッグロックは道具がなければ行えませんが、スピーチロックは自分の都合で利用者さんの動きを拘束してしまう、誰もが、誰にでもできてしまう危険性があります。人手不足の現場では職員一人あたりの業務量が多く、食事や入

浴、排泄等の支援を行いながら、利用者さんの見守りを行わなければいけません。そのため求められた時に、すぐに対応できない事も多く、無意識のうちに「ちょっと待っていて」「後でやるから」と声をかけて行動を拘束してしまします。普通に伝えたりもりでもスピーチロックになつてしまう事があるので注意が必要です。強い言葉をこちらから投げかけるのではなく、柔らかい言葉で丁寧に気持ちを伝える事がスピーチロックを防ぐポイントであり、ひとつの言葉でも複数の言い換えた言葉を用意しておく、言葉選びに詰まらず、より丁寧な対応ができると学びました。

又、スピーチロックは利用者さんに対するものだけでなく、上司と部下、同僚同士などでも起こることであり、言葉遣いには常日頃注意を払う必要があります。利用者さんの選択や自由を尊重し、常に自分に置き換えて支援をしていきたいと強く感

じました。また、スピーチロックを完全になくせるように、他職員への意識付けを図っていきたいと思います。

個別支援計画から

生活支援センター

主任 貝塚 卓弥

「ずっと今のグループホームで楽しく生活がしたいな。」先月、60代の利用者さんからこのような要望を聞きました。他の利用者さんからも同様の話をよく耳にします。現在、グループホームでは36名の利用者さん（うち8名が60歳以上）が各ホームに分かれて生活しています。近年、児童寮からの卒園者が入居するケースが続く、若い利用者さんが増えていく一方で従来いる利用者さんの高齢化が益々進み、グループホームでどのように支援をしていくのかが一つの課題になっています。以前、研修で知的障害のある方達は一般的に加齢化が早く進む（10～20歳程度早い）、加齢化するという

ことは、ほぼほぼ重度化する事と一緒に考えた方が良いという話がありました。これは知的障害自体が重くなることではなく、高齢化により身体機能や精神機能、認知機能が低下し、介護度が上がる事を意味しています。高齢化は誰にでも訪れ、決して逃れることはできません。「ずっとグループホームで…」という利用者さんの想いに対し、私たち支援者に出来ることは、徐々に高齢化していく利用者さんに対して機能低下を防ぐ「予防」と、来るべき老いに対する「準備」を意識した支援の提供ではないかと考えます。一見、変わらぬに元氣そうに見えたとしても、視力や聴力の機能低下、唾液量の減少に伴う口腔ケアの問題（誤嚥性肺炎の恐れ）は少なからず出ています。まずは、何気ない日常生活の些細な変化に逸早く気付くこと、そのための関わり方も重要視しています。



防犯防災係から

総合訓練

児童指導員 坂本 信也

11月24日に行方消防署員5名の方の指導の下、避難誘導、消火訓練などを行いました。今回の訓練は午後でしたが、早朝や夜間での職員体制、また、利用者さんの突発的な行動等に対して臨機応変に対応が出来るか考えることはたくさんあります。日々の支援や訓練等を通じて、緊急時に職員間で声を掛け合い連携してスムーズな対応が取れるようにしていきたいと思えます。



実際に消火器を使って訓練しました

防犯訓練

11月25日に行方警察署生活

安全課、日本防災通信協会の方々に講師に迎え防犯訓練を行いました。実際に不審者役の方を相手に職員5名で対応しました。通報してから警察が到着するまで約10分。それまでの時間稼ぎとして、不審者を落ち着かせる様に説得をしました。不審者が来園する機会がないことが一番ですが、万が一に備えてどのように自分が動けば良いかシミュレーションが出来ました。



*紙面に記載されている個人情報、ご本人または保護者様の了承を得て掲載しています。

クリスマス会 (12/24)



トナカイさんからのプレゼント☆

育成寮

クリスマス会 (12/24)



クリスマスツリーと一緒に♪

児童寮

クリスマス会 (12/14)



絵画に描いた景色がもらえました!

多機能型事業所 アイリス

新年の抱負

児童寮 齊藤 幸那

新年あけましておめでとうございませう。4月から社会人になりグループホームから自転車に乗って会社に通います。自転車はバランスがたもてなくてふらつくことがあるのでまずはバランスをたもつことをクリアしたいです。今年は自転車に乗れるように頑張ります。





令和四年 虎年の皆さん

*紙面に記載されている個人情報、ご本人または保護者様の了承を得て掲載しています。



収穫祭 (11/14)

苦情受付窓口より

主任 矢部 孝
当施設では苦情を受け付けています。令和3年7月から12月までに受け付けた苦情は特にありませんでした。今後も利用者さんや保護者の皆様からのご意見をいただき、より良い福祉サービスを提供していきたいと思えます。お気づきの点が御座いましたらお申し出下さい。

運営連絡会議

かしま障害者就業・生活支援センターまつぼっくり
令和3年度第2回運営連絡会議を茨城労働局と共催で実施しました。コロナ禍に伴い対面ではなくオンラインを活用しての会議開催となりました。

障害支援区分認定調査の委託を受けました

昨年8月に3名が初任者研修を受講し、11月に潮来市より障害支援区分認定調査事業の委託を受けました。

寄付・寄贈・招待

- | | |
|----------------|---------|
| 水島 由美子 | 様 (茨城県) |
| 全タイヨー労働組合 | 様 (茨城県) |
| イオン鹿嶋店 | 様 (茨城県) |
| 認定こども園こじか | 様 (茨城県) |
| 出光 俊郎 | 様 (栃木県) |
| 加倉井 真樹 | 様 (茨城県) |
| 小池 治 | 様 (栃木県) |
| 鹿島ボランティアネットワーク | 様 (東京都) |
| ムーバット株式会社 | 様 (東京都) |

行事予定

- | | |
|--------|-----------|
| 1月 | 1日 児 初詣 |
| 9日 法人 | 新年会 |
| 14日 | なかぼつ 監査 |
| 18日 法人 | 健康診断 |
| 25日 法人 | 育児 監査 |
| 26日 法人 | コロナワクチン接種 |
| 2月 | |
| 2日 法人 | コロナワクチン接種 |
| 3日 育児 | 節分 |
| 6日 法人 | コロナワクチン接種 |
| 3月 | |
| 13日 法人 | 理事会 |

編集後記

昨年から広報誌の担当になりもうすぐ一年、まだまだ分からないことがいっぱいあり、先輩たちに教えて貰いながら、もともと利用者さん達の笑顔と楽しい時をお伝えできるように頑張ります。(林)